

## 新作紙芝居上演

10月9日、ぎふメディアコスモス フム・ドキ・ワイワイテラスにて、新作紙芝居「於母ヶ池物語」を上演しました。市民約50名に観賞していただきました。



## 活動報告 (その他)

近江聖人・中江藤樹育ての祖父 中江徳左衛門吉長の屋敷跡案内板が道路の南側の民家に設置されていましたが、民家解体により城下町絵図も変更し、道路北側にリニューアルした案内板を取り付けました。



## 令和5年度研究会活動 (令05.04~R06.03)

研究	定例	研究会		
	登録	岐阜市民活動団体登録 & 黒野会館利用団体登録		
調査研究		調査・研究活動 (古文書・歴史文化全般)		
	行事	令05.05.22 関ヶ原古戦場研修会		
地域おこし・まちづくり		令05.05.07 ~ 12 加藤貞泰公没後400年記念行事 (小冊子「どうする! 貞泰」発行・講演会・パネル展)	新規	
		外部団体との交流		
	講演		令05.07.16 研修会 (滋賀県高島市・中江藤樹記念館・藤樹書院・大溝城)	新規
			令05.06.12 岐阜西ロータリークラブ 都ホテル 講演「加藤貞泰と尉殿堤」	新規
			令05.07.19 ユーモア会 貴久家 紙芝居「於母ヶ池物語」	新規
			令05.08.25 黒野公民館講座「加藤貞泰と黒野」 内堀信雄氏	新規
			令05.09.22 岐阜ロータリークラブ 都ホテル 講演「どうする! 貞泰」	新規
			令05.10.03 池田町六之井公民館 みんなでお茶会 紙芝居「関ヶ原」	新規
			令05.10.09 メディアコスモス ドキドキテラス 紙芝居「於母ヶ池物語」	
			令05.10.17 黒野白寿会連合会 研修・福祉大会 西部コミュニティセンター 「紙芝居・剣舞」	
			令05.10.28 黒野小土曜学習「こどもまつり」 紙芝居「黒野のお殿さま」	新規
			令05.10.28 岐阜学会講演会 関ヶ原町歴史民俗学習館 「関ヶ原合戦と加藤貞泰」	新規
	案内		令05.11.12 古市場自治会 敬老祝賀会 余興紙芝居「尉殿堤」	新規
			令05.12.19 県隣保館運営協議会 黒野会館 講演「黒野城と加藤貞泰公」	新規
			令05.10.21 黒野まちづくり協議会 歴史探訪 洞の史跡めぐり	委託
			令06.03.02 岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会・黒野城ウォーキング 案内	新規
	環境		令05.04.04 顔はめパネル	新規
		事績案内板	黒野城跡をタンポポ・菜の花で埋め尽くす作戦	
既設案内板の清掃活動 (23枚)				
美化活動	令05.12.23 中江藤樹祖父吉長屋敷跡案内板更新			
	洞の史跡案内板原稿作成	新規		
展示		福め手側土塁跡草刈・除草剤		
	令05.11.03 ~ 04 黒野会館まつり 加藤貞泰公没後400年記念パネル展	新規		
広報		城跡分館「黒野城情報板」保守・掲示管理		
	令06.02.16 ~ 24 メディアコスモスNPO活動パネル展	新規		
その他		岐阜県地方自治研究センター「岐阜市のまちづくりと市民活動」寄稿「よみがえれ黒野城」	新規	
		「訪ねてみよう黒野城下町」改訂第3版の編集		

## 令和5年度 ご寄付いただいた事業者さま (敬称略・順不同)

新日本ガス株式会社 / 黒野病院 / 誠広会 平野病院 / 福富医院 / ヨツハシ株式会社 / 野々村医院  
西本整形外科リハビリクリニック / 株式会社平成調剤薬局 / 立山クリニック / 西村歯科医院 / 友とぴあ  
みながわ内科循環器科クリニック / 日本いぶし瓦株式会社 / 杉浦紙工株式会社 / 丸幸製菓株式会社 / 戸川新聞店  
久世工業株式会社 / 株式会社 杉山興業 / 株式会社 むつみ / 黒野金融懇話会 (5社)

## 会報『甦る! 黒野城』Vol. 12

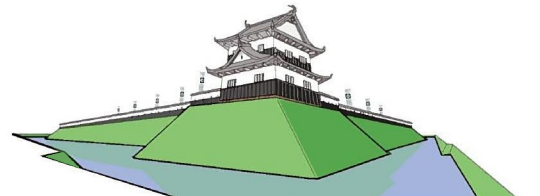
発行者: 黒野城と加藤貞泰公研究会  
発行年月: 令和6年4月 (2024)  
編集者: 篠田哲郎・河口耕三・信田朝次  
問合せ・連絡先: HP facebook.com/kuronojyo  
TEL 090-1786-6564 河口耕三

## ~ 編集後記 ~

今号は、研究会最大のイベントである貞泰公没後400年記念をメインとした特集号です。会場にお越し頂いたご来場者および関係者各位にお礼申し上げます。今後とも当研究会を宜しくお願いします。 編集担当: 篠田哲郎



# 黒野城と 加藤貞泰公研究会



黒野城下町 GoogleEarth 衛星写真(2023年)

# 会報 甦る! 黒野城

## 2024.04 vol. 12

### 「どうする! 貞泰」(加藤貞泰公没後400年記念行事) 開催

加藤貞泰公が元和9年(1623年)5月22日 江戸屋敷で逝去され400年を迎えました。研究会ではこれを記念し岐阜市と共催し、ぎふメディアコスモスで「加藤貞泰公没後400年記念行事」を開催しました。5月7日に記念講演会、5月10~12日にパネル展には多くの方々に来場いただき、研究会発足以来の最大イベントとなりました。



「どうする! 貞泰」  
記念講演会(上段)、パネル展(下段)



## どうする! 貞泰 加藤貞泰公没後400年記念講演会

5月7日(日)、ぎふメディアコスモスみんなのホールにて「加藤貞泰公没後400年記念講演会」を開催しました。研究会員のスタッフが受付などを分担し、雨天にもかかわらず予約申込者と当日来場者合わせて180名が参加されました。賛歌DVD「あゝ黒野城下町」を紹介後、午後2時から平野恭子会員の司会進行で開会。河口会長挨拶、柴橋正直岐阜市長のご祝辞。二宮隆久大洲市長、今井要大洲史談会会長の祝賀メッセージを披露。河口会長より黒野城と加藤貞泰の概要説明後、名知勲・中村奈津子会員による朗読の紙芝居「尉殿堤」を上演。午後3時からぎふ魅力づくり推進部 文化財保護課の内堀信雄氏による記念講演「加藤貞泰と岐阜市」を1時間20分にわたり解説。美濃齋藤氏の時代、四天王に加藤の名があるなど新たな史料などの解説もありました。過去最大の行事で、参加者からも黒野城と加藤貞泰公の活躍がよくわかったと大変好評でありました。



## どうする! 貞泰 加藤貞泰公没後400年記念パネル展



5月10日(火)～12日(木)、ぎふメディアコスモスみんなのホールにて「加藤貞泰公没後400年記念パネル展」を開催しました。加藤貞泰公の画像や系図、黒野在城時の出来事や徳川家康の貞泰公宛て書状6通の写し、黒野城の古図やゆかりの寺院、神社や国替え先の米子城、大洲城の資料をパネル展示。パネルは全116点に及び研究会12年の活動の集大成となりました。他に旗・幟・鏝・手作り紙製鎧兜6体、ジオラマ及び研究会発行の書籍なども展示。受付記名入場者も3日間で500名を超え、大盛況のうちに終了しました。

## 小冊子「どうする! 貞泰」発行

加藤貞泰公没後400年を記念して貞泰公の遺徳を偲び、小冊子「どうする! 貞泰」を発行しました。岐阜新聞コラム欄「素描」(昨年1月・2月の毎週火曜日に9回掲載)をレイアウトし、黒野城の歴史や貞泰公の生涯、研究会活動、古地図・絵図・写真を掲載し、B5版・24ページカラー印刷で1000部作成しました。(公財)岐阜市教育文化振興財団の市民芸術文化・スポーツ基金の助成と、地域の団体・企業様のご協力をいただきました。巻頭には柴橋正直岐阜市長の「発刊に寄せて」と、内堀信雄氏の「加藤貞泰公と岐阜市」を掲載しました。本小冊子は、関係者や寄付者、掲載許可者などに配布し、また「どうする! 貞泰」講演会の参加者、パネル展来訪者にも配布し、多くの方々に広く加藤貞泰を知っていただく活動ができました。



## 関ヶ原町の岐阜学会講演会で「関ヶ原合戦と加藤貞泰」を発表



10月28日(土)、関ヶ原町歴史民俗学習館で、岐阜学会文化講演会「徳川家康 美濃をどうする」が開催され、県内各地から約100名が参加しました。関ヶ原町長の挨拶の後、丸山幸太郎会長、関ヶ原町民俗学習館館長、垂井町観光ガイド宣伝部長、関ヶ原町地域振興課課長補佐が登壇。河口会長からは陣形図に加藤貞泰公が記されている新史料の紹介(岐阜市外では初)もあり、貞泰公の活躍をPRできました。研究会からは会員6名が参加しました。

## 黒野歴史探訪「洞の史跡めぐり」

10月21日(土)、毎年恒例の黒野まちづくり協議会主催、黒野歴史探訪は洞地域めぐりを行いました。一般参加者、岐阜大学看護学科学学生、県文化財保護センター、国土交通省、NEXCO中日本、岐阜市、マスコミなど合計95名が参加。深坂神社駐車場に参集し、まち協や地元自治会長挨拶後スタート、深坂神社、大杉、地藏堂、洞霊園、於母ヶ池を見学し、圓成寺到着後、地元の柿賞味。ご住職挨拶後、紙芝居「於母ヶ池物語」を上演。さらに、現在建設中の東海環状自動車道で洞第2古墳群跡を県文化財保護センター員が説明し、高架下で国土交通省岐阜国道事務所の工事説明を聞きました。馬頭観音、庚申堂を経て帰途へ。初め小雨模様でしたが好天に恵まれ、洞自治会、交通安全部会の協力もあり、無事終了。4kmの史跡めぐりは参加者に大変好評でした。CCNテレビのエリアトピックス番組で10月23日～29日にかけて紹介されました。



## 黒野小こどもまつり「紙芝居」



10月28日(土)、黒野小学校支援推進委員会(コミュニティ・スクール)が主催でこどもまつりが行われました。「児童が様々な体験活動を通して、地域の人やそこにあるものと関わりをもち、ふるさと黒野への愛着を深める」ことをねらいに黒野地域17の各種団体が様々な行事を実施しました。研究会は、紙芝居部会の4名が、5年生1学級と6年生2学級に25分ずつ「黒野のお殿さま」を上演し、黒野の歴史を学んでもらいました。

## 関ヶ原・現地研修会



5月22日(月)、研究会員と常磐歴史研究会など13名が参加し、桃配山家康最初陣地跡、十九女池、本多忠勝陣跡、丸山(岡山)烽火場、関ヶ原町役場、関ヶ原民俗学習館、陣場野(家康最後の陣地跡)、田中古政陣跡、東首塚、松平忠吉・井伊直政陣跡、決戦地、石田三成陣跡を巡りました。慶長5年の合戦当時を彷彿させる雨上がりの天候と景色のなかで423年前の合戦地で貞泰公を偲びました。

## 高島市・中江藤樹研修会



7月16日(水)、研究会員が滋賀県高島市の中江藤樹記念館および大溝城跡などを見学しました。貞泰公の父光泰公が天正11年(1583年)に大溝城主の際、中江徳左衛門吉長が光泰公に仕え、後に黒野城下に住みます。吉長はその後、近江聖人の中江藤樹育ての祖父になります。その縁で高島市を訪問しました。